

市丸小だより

令和5年12月11日(月)市丸小学校

No.17

144年のよき伝統の継承と笑顔あふれる学校へ

家庭数配布

文責 校長 本庄 裕子

人権週間 12月4日～10日

12月4日から10日までは、「人権週間」です。人権週間は、1948年12月10日に「国際連合」で「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定められたものです。

学校では、この期間に「人権」について校長が話をしたり、「子どもの権利条約」についての放送を職員がしたり、学級で人権学習を行ったりしながら、身近な問題や人権について考えていきました。

「自分や周りの人を大切にする」「相手の気持ちを考える」その根底にあるのは、「違いを認め合う」という気持ちだと思います。インターネットの無責任な書き込みの問題や LGBTQ や障害のある人への理解などの学習を通して、「違いを認め合う」という意味を考え、これからも人権尊重の重要性を認識していきたいと思います。

「学校給食優良学校優良賞」受賞!

この度、市丸小学校は食育についての取組みが評価され、福岡県で学校給食優良学校の優良賞で表彰されました。

これまで本校は、「朝ごはんレシピコンクール」や収穫祭の取組み、児童が中心となって活動する健康保健委員会の取組み、また、地域と連携した各学年の食育学習の取組み等を行ってまいりました。これらの取組みは、子どもたちの頑張りのもとより、家庭、地域、学校の連携により行えたものです。保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。



また、今年度は、「学校保健優秀賞」も受賞し、2つの賞を頂くことができました。生きる上で大切である「健康」や「食」の取組みに賞をいただき、大変名誉なことだと思っています。これからも、子どもたちが、「食は楽しい、食は大切。」と感ずることができるよう、取組みを続けてまいります。



食育の授業 3,5,6年生

(3年生)

3年生は、給食に使用されている野菜に着目し、市内の産地や種類を調べる活動を行いました。その中で、小倉南区の農家の方やJA北九の方にお話を聞くことができ、小倉南区の特産物である「大葉春菊」のことを知りました。そこで、大葉春菊をPRするために自分たちにできることを考えています。



(5年生)

5年生は、朝食に目を向けて、食事の役割や栄養の種類を学習しました。その中で、みそ汁は、日本の伝統的な日常食であり、実の組み合わせによって、栄養のバランスや旬を考え、工夫できる料理です。

そこで、子どもたちは、家族に食べてもらいたいみそ汁を考えました。出汁や具の種類を工夫し、家族が元気になる理想のみそ汁を考えることができました。



(6年生)

6年生は、健康に生活するという意識をもって栄養バランスのよい食事のとり方や朝食の役割について学習しました。そこで、朝食に着目し、家庭で実践しました。その実際に調理したものを再度、栄養バランスや色合い、手軽さの視点で見直し、理想の朝食を考えました。子どもたちは、野菜が足りないな、色合いが良くないな、ど気づいていきました。

